

## Press Release

### ネットスプリングの認証アプライアンスサーバ AXIOLE Microsoft Azure 連携強化「AXIOLE IdP オプション(V1.19)」発表 AXIOLE for K12 プロジェクト (GIGA スクール構想対応) 第 2 弾

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、LDAP ベースの認証アプライアンスサーバ「AXIOLE®（アクシオレ）」ファミリーに、日本マイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」と認証連携機能により連携する「AXIOLE IdP オプション」のバージョンアップを発表し、6月30日から製品の出荷を開始します。適用される AXIOLE は、V1.19 以降になります。

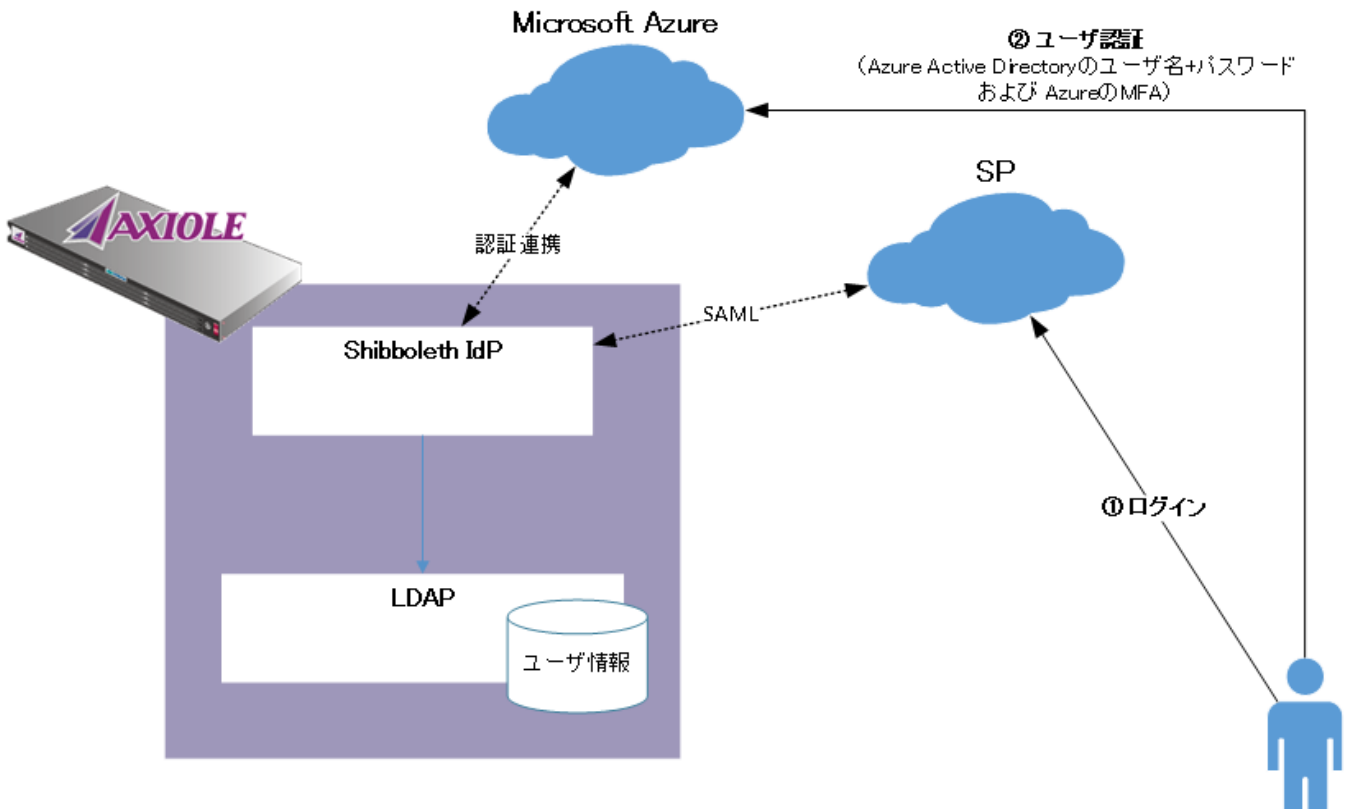
ネットスプリングの AXIOLE は、LDAP、RADIUS 認証プロトコルに対応し、認証機能に特化したアプライアンスサーバ製品です。Active Directory や他の LDAP サーバとの連携機能を標準実装するとともに、Shibboleth や G Suite（旧 Google Apps）との外部連携機能をオプションで選択・追加が可能です。更に先般リリースした V1.18 では、Microsoft Azure Active Directory と直接連携するオプションも発表しています。また、当初からのハードウェアアプライアンス版のほかに、仮想アプライアンス版（VMware vSphere 対応）、クラウド版（AXIOLE for Azure や AXIOLE for AWS）もラインアップされています。2006 年末の製品初出荷以来、統合的な認証機能をコンパクトに提供する設計思想と、導入運用の容易性や安定性・サポートサービスが支持され、大学・高専等、多数の高等教育研究機関で導入されてきました。最近ではテレワーク用途を始め一般企業にも導入が進んでいます。

COVID-19 によるテレワークの拡大により統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」の大きな利用拡大があり、日本マイクロソフトの Office 365 関連のメールやグループウェア（Microsoft Teams や OneNote 等）を利用するユーザが大幅に増加しています。今回の AXIOLE IdP オプションの機能アップは、主として Microsoft Azure との認証連携において Office365 の多要素認証機能（MFA）を AXIOLE の IdP の認証時に利用したいという多くの要望から実装されたものです。これにより普段から慣れている Office365 の Azure Active Directory(以降 Azure AD)の認証および MFA 機能が AXIOLE IdP の認証時においても設定可能となりシームレスな認証連携が実現されます。また、本機能と従来の IdP での認証を併用し、SP 毎に認証方法を設定することも可能です。今回の AXIOLE for K12 プロジェクトは、この運用容易性において初等中等教育の GIGA スクール構想に呼応し、グループウェアの活用を大きく促進するものです。タブレットの配布だけでなく、各種多様なグループウェアの容易な利用を支援することこそ AXIOLE for K12 プロジェクトの狙いです。また、初等中等教育だけでなく教育機関全般において AXIOLE の複数サイト利用その他、AXIOLE for K12 プロジェクトとして機能追加を今後予定しています。

#### ■AXIOLE IdP オプション機能アップ概要（AXIOLE V1.19 以降対応）

- Azure Active Directory との認証連携
  - IdP 認証ログイン時において Azure AD 認証を利用可能
  - Azure AD 認証時の多要素認証機能(MFA)も利用可能
  - SP 毎に Azure AD での認証連携と AXIOLE IdP でのパスワード認証を設定可能
- オープンソースその他関連ソフトウェアの脆弱性対応（AXIOLE V1.19）
  - IdP オプションを使用しない AXIOLE においてもバージョンアップを推奨

## <AXIOLE IdP オプション の Azure AD 連携図 (V1.19)>



### ■AXIOLE Shibboleth IdP オプション機能新料金

- AXIOLE IdP オプション (標準クラス)

型番：AXI100 一括ライセンス料金：120 万円

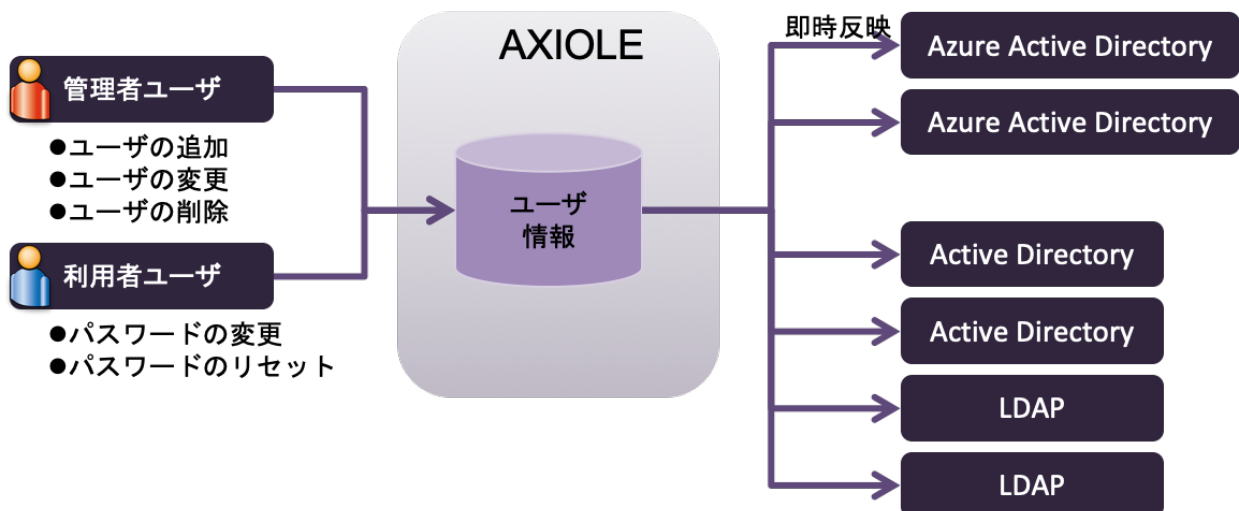
- AXIOLE IdP オプション (エントリークラス適用)

型番：AXI100E 一括ライセンス料金：60 万円

- AXIOLE IdP 専用アプライアンス別途【ハード版、仮想版、クラウド版(Azure/AWS)】提供中



## <AXIOLE for Azure 連携オプション概略図 (V1.18) >



### ■AXIOLE for Azure 連携オプション機能料金 (全プラットフォーム共通)

- AXIOLE for Azure 連携オプション (標準クラス)

型番：AXZ100 年間ライセンス料金：60 万円

- AXIOLE for Azure 連携オプション (エントリークラス適用)

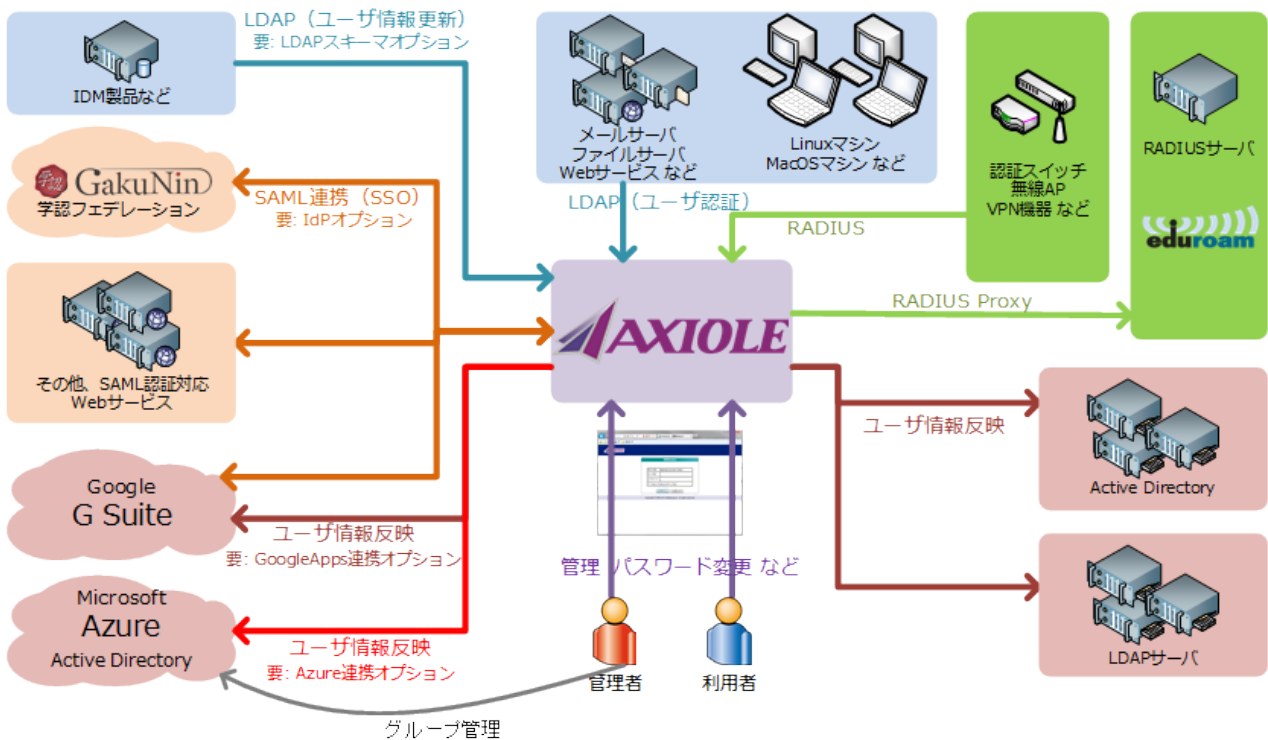
型番：AXZ100E 年間ライセンス料金：30 万円

AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>

**【参考 1】 AXIOLE アプライアンス版の特長・機能、およびオプション機能について**

- LDAP ベースの認証基盤をアプライアンス形態にてマルチプラットフォーム展開  
ハードウェア版、仮想版 (AXIOLE-i)、クラウド版 (AXIOLE for Azure、AXIOLE for AWS)
- スキーマ属性等 DB 設計が不要
- 日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザ向け機能を提供
- RADIUS プロトコル (RADIUS プロキシ/eduroam) にも対応
- Active Directory (AD) と ID 同期が可能
- AXIOLE 2 台による冗長構成が可能 (ハードウェア版)
- 「LDAP スキーマオプション」
  - 汎用的な LDAP 機能を組込提供 (有償)
- 「G Suite (旧 Google Apps) 連携オプション」
  - AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を組込提供 (有償)
- 「Microsoft for Azure 連携オプション」
  - AXIOLE と Azure AD 間の ID 同期機能を組込提供 (有償)
- 「Shibboleth IdP オプション」
  - Shibboleth の IdP 連携機能 (IdP V3 対応) を組込提供 (有償)
  - SAML を利用した Office365 連携が可能
- AXIOLE IdP 専用モデル
  - IdP のみ利用可能な専用アプライアンスモデル提供中
  - マルチプラットフォーム対応 (ハードウェア版、仮想版、クラウド版)

<AXIOLE 機能概要図>



**【参考 2】 ネットスプリングのその他の主な製品**

- eFEREC-1 / eFEREC-2 (統合エンドポイントアクセス制御装置) <SAML 認証機能付き>  
eFEREC 製品専用サイト: <http://www.eferec.jp/>
- SmartSignOn for eFEREC (スマートサインオン) Android 版&iOS・iPadOS 版アプリ提供中  
SSO4eF 専用サイト: <http://www.smartsignon.jp/>
- SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)  
SSOcube 製品専用サイト: <http://www.SSOcube.jp/>

## 【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進（にしたけ すずむ）
- ・設立：2000年3月
- ・資本金：2,000万円
- ・事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売  
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・URL：<http://www.netspring.co.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

### お問い合わせ先:

株式会社ネットスプリング マーケティング部  
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp